

第2期美馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和2年3月
令和3年3月改訂
令和3年8月改訂

美 馬 市

目 次

I	はじめに～基本的な考え方～	1
II	基本姿勢	1
	1. 「総合戦略」の位置づけと計画期間	1
	2. 「総合戦略」の推進	2
	3. 検証と改善（「P D C Aサイクル」の構築）	2
III	基本目標と基本的方向、具体的な施策	3
	1. 本市の特性と課題（強み・弱み）	3
	2. 基本目標と基本的方向、具体的な施策	3
	（1）全体像（4つの基本目標と相互の関係）	3
	（2）基本目標と基本的方向、具体的な施策・重要業績 評価指標（K P I）	4
	《基本目標①》 本市にしごとをつくり、雇用の創出や所得の増加を を実現する	4
	《基本目標②》 本市への新しいひとの流れをつくる	6
	《基本目標③》 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	8
	《基本目標④》 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る とともに、地域と地域を連携する	10

美馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略

I はじめに～基本的な考え方～

本市では平成27年度から「美馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、人口減少問題の克服と持続可能な地域づくりに取り組んできた。この取組により多くの事業でK P Iの目標値を達成するなど一定の成果は見られたものの、人口減少に歯止めをかけるまでには至っていない。また、人口減少は企業活動や地域コミュニティの担い手の不足を引き起こしている。

このため、「第2期美馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、前期総合戦略の成果を踏まえた事業の選択と集中により、引き続き「美馬市人口ビジョン」で示した2060年の本市人口「2万人」の確保を目指す。

II 基本姿勢

1. 「総合戦略」の位置づけと計画期間

- 「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づき、「美馬市人口ビジョン」で描く将来展望に向け、人口減少問題の克服と持続可能な地域づくりに向けた施策の方向性を位置づける計画とする。
- 第3次美馬市総合計画（令和2～10年度）との整合を十分に図り、「しごと」と「ひと」の好循環を「まち」が支える関係を構築して、人口減少問題の克服に果敢に挑みつつ、人口減少の市民生活への影響を最小限に留める取組を併せて行う。
（「攻め」と「守り」の両面戦略）

※第3次美馬市総合計画より

基本理念

これまでの総合計画の基本理念である「共創・協働」を継承しつつ、新たな時代に、新たな美馬市のまちづくりを推進していく。

『ともに 未来をつくる』

将来像

「美しく駆ける 活躍都市 美馬」
～住みたいまちをめざして～

- 計画期間は、今後5年間（令和2～6年度）とする。

2. 「総合戦略」の推進

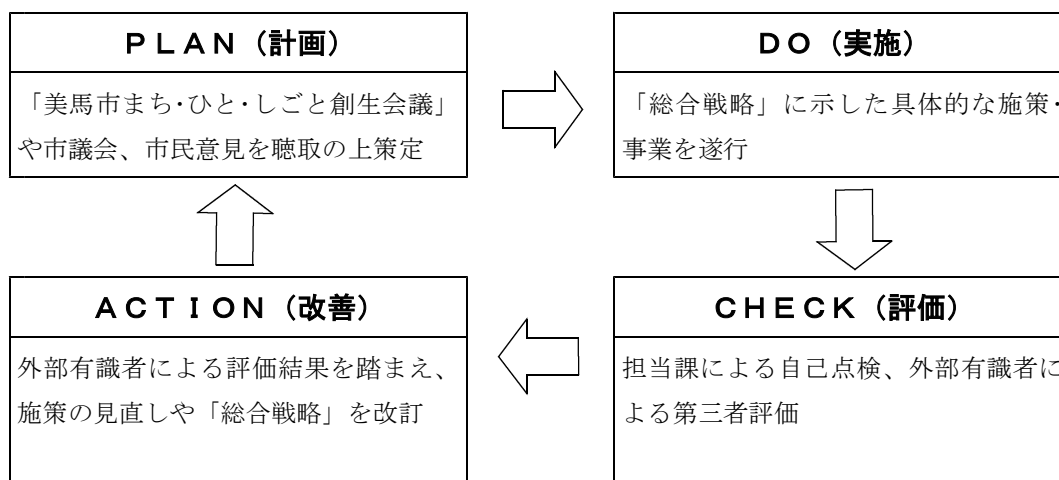
- 産官学金労言の各界代表者に地域住民代表を加えた「美馬市まち・ひと・しごと創生会議」を核として「総合戦略」を推進する。
- 国の総合戦略に盛り込まれた「政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）」の趣旨を踏まえて、効果的に施策を推進する。
- 国の第2期総合戦略に追加された「新たな視点」も取り入れながら施策を推進する。
 - ・「地方への人・資金の流れを強化する」
 - ・「新しい時代の流れを力にする」
 - ・「人材を育て活かす」
 - ・「民間と協働する」
 - ・「誰もが活躍できる地域社会をつくる」
 - ・「地域経営の視点で取り組む」
- パブリックコメント、総合計画策定時に寄せられた意見の活用を図るなど、幅広い市民意見の聴取を行う。
- 「総合戦略」の策定に際し参考にした、「地域経済分析システム（RESAS）」のデータについて、「総合戦略」の推進に当たっても引き続き活用していく。
- 基本目標ごとにSDGsとの関連性を明確化し、事業実施に活用する。

3. 検証と改善（「PDCAサイクル」の構築）

- 「総合戦略」においては、「4つの基本目標」を掲げるとともに、基本目標ごとに5年後の目標を設定する。

また、基本目標の達成に向け、具体的な施策ごとに「重要業績評価指標（KPI＝Key Performance Indicator）」を設定し、これらの目標等を基に、実施した施策・事業の効果を検証し、改善（総合戦略の見直し）を行う仕組み「PDCAサイクル」を確立する。
- 効果検証と改善見直しを、外部有識者の参画により実施する。

■ PDCAサイクルのイメージ



Ⅲ 基本目標と基本的方向、具体的な施策

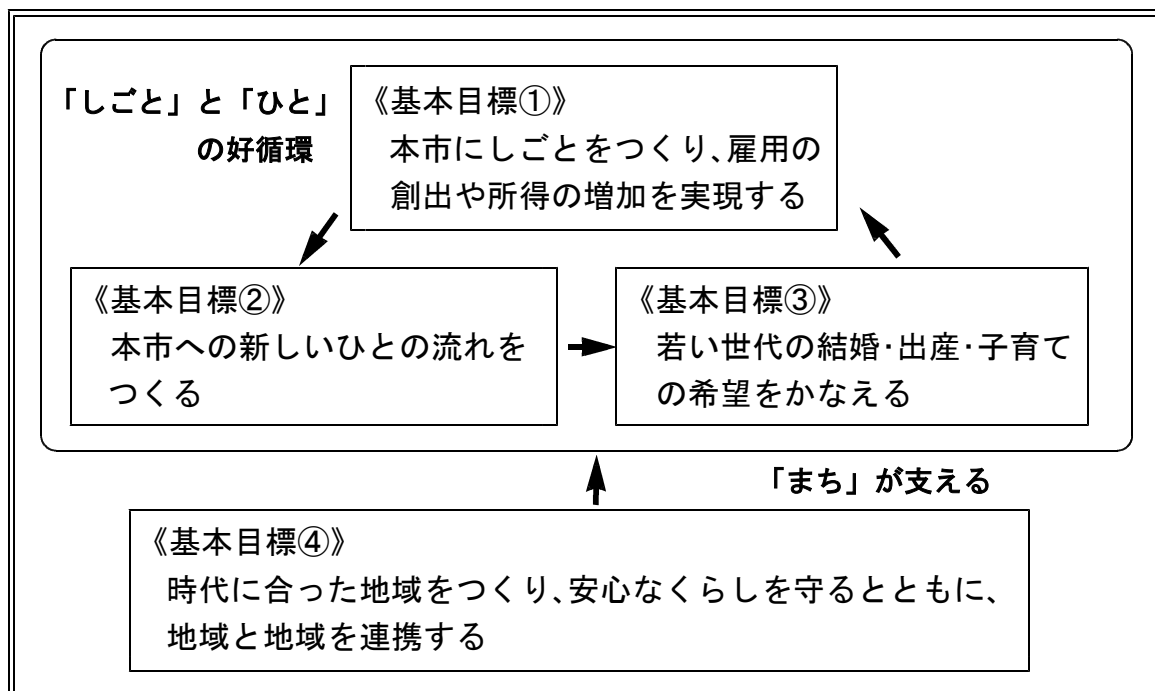
1. 本市の特性と課題（強み・弱み）

- 特 性**
- ・ 剣山や吉野川・穴吹川など自然環境が豊かで、うだつの町並みや寺町などの歴史的・文化的資源にも恵まれている。
 - ・ 気候は温暖で大規模な災害も少ない。
 - ・ J Rの駅が2つ(うち1つは特急停車駅)、徳島自動車のICも2つあり、交通の結節点となっていて、四国各県の県都へも利便性が高い。(神戸市についても2時間圏内)
 - ・ 大塚製薬(株)の工場完成やパナソニックヘルスケア(株)の生産拠点集約など、地域経済を支える製造業において雇用の拡大が期待できる。
 - ・ 都市部と比較して3世代同居・近居も多く、子育てに適した環境にある。
- 課 題**
- ・ 若年層の人口流出が著しく、そのことが出生数の減少を招く「負のスパイラル」に陥っている。
 - ・ 人口減少により地域コミュニティ等の担い手・後継者が不足している。
 - ・ 高齢化が進行しており、生活支援の必要性が増している。

2. 基本目標と基本的方向、具体的な施策

(1) 全体像（4つの基本目標と相互の関係）

「しごと」と「ひと」の好循環をつくり、「まち」が支えるという関係を構築する



(2) 基本目標と基本的方向、具体的な施策・重要業績評価指標（KPI）

《基本目標①》

本市にしごとをつくり、雇用の創出や所得の増加を実現する

(国) 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

(県) 地域を支える「魅力的なしごと」づくり

《SDGs》



- 数値目標**
- ・ 誘致企業雇用者数：500人（第1期実績：198人）
 - ・ 市内産直施設売上額：402,000千円（R1年度：364,450千円）
 - ・ 市内宿泊施設宿泊者数：63,000人（R1年：63,985人）

《基本的方向》

- 「美馬市産業振興ビジョン」に基づき、強固な産業構造を構築し、市外の人に本市での生活を選択してもらうためにしごとの質と量を確保する。
- 農林業において収益を向上させるための付加価値の向上や販路拡大、生産コスト削減に取り組む。
- 本市ならではの歴史や文化、自然など多様性に富んだ観光資源を最大限に活用し、観光関係者のみならず、農林業や商工業団体と連携し、「オール美馬」での誘客活動を実施する。

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

(1) 工場立地推進等による雇用創出

本市の地域資源を活かした「オーダーメイド方式」による工場用地の確保を推進するとともに、「美と健康」関連産業の集積という優位性をPRし、積極的に誘致活動を行う。また、既存市内事業者への支援を行い、事業継続と雇用の維持に取り組む。

【KPI】

企業誘致件数：12社（R1年度：7社）
プレミアム付き商品券換金額：559,000千円（R1年度：-千円）
(具体的な事業)

- 企業立地推進事業 〈企業応援課〉
- プレミアム付き商品券発行事業 〈企業応援課〉

(2) 市民が起業・創業しやすい環境整備

市民の起業・創業のニーズに合った支援を実施し、起業・創業者の自立と経営基盤の強化に取り組む。

【KPI】

起業・創業延べ件数（移住を除く）：19件（R1年度：15件）

(具体的な事業)

- 起業・創業支援事業〈企業応援課〉

(3) 農・林業における付加価値の向上と販路拡大

農産物のブランド化による付加価値の向上や、生産・販路拡大などを通じて、農林業における所得向上につなげる。

【K P I】

認定生産者数：55人（R1年度：56人）

(具体的な事業)

- 農林産物ブランド化事業〈農林課〉
- 産直市売上回復支援事業〈農林課〉
- 市道・林道整備事業（道整備交付金）〈建設課〉

(4) 「滞在型観光」への転換

「うだつの町並み」や「穴吹川」といった本市の観光資源を宿泊者の増加に結びつけ、「通過型観光」から「滞在型観光」への転換を推進する。

【K P I】

農林漁家民宿開業数：20軒（R1年度：9軒）

うだつの町並み観光入込客数：200,000人（R1年：180,721人）

うだつの町並み周辺における空き家・空き店舗再生活用件数：15件（R1年度：9件）

吉田家住宅「はなれ家」物産館年間売上額：40,000千円（R1年度：0千円）

吉田家住宅「はなれ家」物産館年間外国人入館者数：700人（R1年度：0人）

吉田家住宅「はなれ家」物産館年間入館者：28,000人（R1年度：0人）

体験型ツアー利用者数：1,400人（R1年度：-人）

「脇町突抜町住宅」における年間売上額：9,000千円（R2年度：-千円）

「脇町突抜町住宅」における周辺宿泊施設等との連携件数：3件（R2年度：-件）

「脇町突抜町住宅」におけるチャレンジショップ利用件数：1件（R2年度：-件）

(具体的な事業)

- 農林漁家民宿開業支援事業〈観光交流課〉
- うだつの町並み再生プロジェクト推進事業〈観光交流課〉
- うだつの町並み滞在型魅力発信事業（拠点整備交付金）〈観光交流課〉
- G o T o M i m a キャンペーン事業〈観光交流課〉
- **(再掲)** 市道・林道整備事業（道整備交付金）〈建設課〉
- うだつの町並み古民家改修による観光経済活性化事業（拠点整備交付金）〈観光交流課〉
- 観光プロモーションプロジェクト推進事業〈観光交流課〉

《基本目標②》

本市への新しいひとの流れをつくる

(国) 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる

(県) 「未来を担うひとの流れ」づくり

《SDGs》



数値目標 ・ 転出超過数：2025 (R6) 年までに 0 (転入転出数を均衡) (R1年：108人)

《基本的方向》

- 進学・就職・結婚をターゲットにした転出超過抑制策を展開する。
- 30代・40代の移住・定住を促進する。
- 市出身者や美馬市にゆかりのある人々と「つながり」をつくる取組みを続け、将来的な中・高齢層の「ふるさと回帰 (U I J ターン)」に結びつける。

《具体的な施策と重要業績評価指標 (K P I)》

(1) 進学・就職・結婚をターゲットにした転出抑制・転入促進

若年層の転出超過が著しい実態を踏まえ、「進学」「就職」「結婚」をターゲットとした転出抑制・転入促進策を講じる。(就職支援については基本目標③に再掲)

【K P I】

新規雇用奨励金支給制度利用による新規雇用者数：80人 (R1年度：32人)

U I J ターン促進奨学金返還金助成制度利用によるU I J ターン者数：81人
(R1年度：34人)

年間新婚世帯家賃補助件数：70件 (R1年度：68件)

年間新生活支援件数：10件 (R1年度：5件)

(具体的な事業)

- 新規雇用奨励金支給事業 (企業応援課)
- U I J ターン促進奨学金返還金助成事業 (にぎわい拠点課)
- 新婚世帯家賃補助事業 (にぎわい拠点課)
- 結婚新生活支援事業 (にぎわい拠点課)

(2) 子育て世代に選ばれる教育環境の整備

優れた教育環境は、子育て世代にとって、「住む場所」を決める大きな要素となることから、就学前から中学校卒業までの一貫した特色ある教育を展開し、市内外の子育て世代に選ばれる教育環境を整備する。

【K P I】

中学校3年生の英検3級の合格者の割合：50.0%（R1年度：28.0%）

美馬市の教育事業に対する小学生保護者の満足度：90.0%（R1年度：-%）

（具体的な事業）

- 就学前から中学校卒業までの一貫した特色ある英語教育〈教育総務課〉
- 子どもたちに感動を与える芸術体験事業〈教育総務課〉

(3) 移住・定住の促進と移住創業しやすい環境整備

県内外からの移住・定住を促進するため、「住む場」と「働く場」の確保等に取り組む。

【K P I】

事業により移住した延べ世帯数：53世帯（R1年度：28世帯）

サテライトオフィス誘致延べ件数：18件（R1年度：8件）

支援事業による移住創業件数：19件（R1年度：12件）

住宅を取得し、移住・定住した世帯数：25世帯（R1年度：-世帯）

（具体的な事業）

- 移住促進事業〈にぎわい拠点課〉
- サテライトオフィス誘致事業〈観光交流課〉
- 移住創業支援事業〈企業応援課〉
- 移住・定住住宅取得支援事業〈にぎわい拠点課〉
- 徳島わくわく移住支援事業〈にぎわい拠点課〉
- 介護看護人材就労・定住促進事業〈にぎわい拠点課〉
- 「未来図（ミライズ）」を描く！サテライトオフィス誘致事業〈観光交流課〉
- 地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業〈くらし・人権課〉

(4) 市出身者等との「つながり」をつくる取組の継続

市出身者や美馬市にゆかりのある人々と「つながり」をつくる取組を続け、将来的な中・高齢層の「ふるさと回帰（U I Jターン）」に結びつける。

【K P I】

ファンクラブ会員数：5,550人（R1年度：2,377人）

（具体的な事業）

- 「ふるさと美馬ファンクラブ」事業〈観光交流課〉

《基本目標③》

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(国) 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(県) 結婚・出産・子育て「希望がかなう環境」づくり

《SDGs》



数値目標 ・年間出生者数：2025（R7）年までに180人（R1年：142人）

《基本的方向》

- 若い世代の雇用や子育て世代の「働きやすい」環境整備を支援することで、若い世代が結婚できる条件を整える。
- 安心して楽しく子育てができるよう、地域・行政・社会が一体となった子育て支援に取り組む。

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

(1) 若い世代の雇用や子育て世代の「働きやすい」環境整備に対する支援

若い世代の雇用が確保され、子育て世代の「働きやすい」環境が整備されることで、安心して家庭を築き、子どもを産み、育てる条件が整う。雇用や「働きやすい」環境整備への支援を行う。

【KPI】

新規雇用奨励金支給制度利用による新規雇用者数：80人（R1年度：32人）

(具体的な事業)

- **(再掲)** 新規雇用奨励金支給事業 〈企業応援課〉

(2) 妊娠～出産～育児までの一貫したサポート体制の確立

妊娠～出産～育児までの一貫したサポート体制を確立し、子どもを安心して産み、育てることができる環境を整えることで、出生数の増加につなげる。3子以上の多子世帯への支援を充実して育児の負担を軽減し、「次の1子」への障壁を可能な限り取り除く。

【KPI】

不妊治療費助成制度を利用した延べ件数：100件（R1年度：62件）

子育て支援センターみらい年間利用者数：16,000人（R1年度：11,913人）

児童クラブ待機児童数：0人を維持（R1年度：0人）

5歳児「第3子以降オールフリー」宣言事業申請率：23.0%（R1年度：20.6%）

からだを動かす遊びが好きになった子どもの割合(増加)：

10ポイント(R1年度：-ポイント)

(具体的な事業)

- 不妊治療費助成事業（美馬市こうのとり応援事業）〈保険健康課〉
- 育児用品購入補助事業 〈子どもすこやか課〉
- 多機能型子育て支援センター事業 〈子どもすこやか課〉
- 放課後児童クラブ整備事業 〈子どもすこやか課〉
- 「第3子以降オールフリー」宣言事業 〈子どもすこやか課〉
(第3子以降の保育所、幼稚園、小・中学校に直接必要な費用無料化。)
- 元気っずプログラム実践事業 〈子どもすこやか課〉

《基本目標④》

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

(国) ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

(県) 安全・安心「持続可能な社会」づくり

《SDGs》



数値目標 ・ 自立している高齢者の割合：80.0% (R1年度：81.3%)

・ 自治会の維持率：100.0% (R1年度：100.0%)

《基本的方向》

- 市民活動が活発に行われるまちづくりを行う。
- 人口が減少しても地域で安心して生活できる仕組みを作る。
- 地域活動の担い手として活躍する健康な高齢者の割合を高める。
- 「美馬市生涯活躍のまちモデル事業プラン」に基づき誰もが生きがいを感じながら暮らすことができる全世代・全員活躍のまちづくりを推進する。

《具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)》

(1) 市民と行政との協働の推進

行政だけでは解決できない地域の様々な課題に取り組むため、市民活動団体やN P

○法人などとの協働を進める。

【KPI】

年間参加消防団員数：500人 (R1年度：201人)

(具体的な事業)

- 消防団支障木伐採事業 (消防本部総務課)

(2) コミュニティ活性化と中山間地域等の生活支援

人口減少の進展によりコミュニティ活動が困難となることが想定されることから、集落と集落をつなぐ地域運営組織の形成を目指すとともに、中山間地域等での生活を継続できるよう、見回り服薬や移動手手段の確保を推進する。

【KPI】

見回り服薬サポート年間回数：240回 (R1年度:241回)

デマンドバスの1日あたり利用者数：84.00人 (R1年度：74.75人)

過疎地有償運送事業による送迎回数：100回 (R1年度：140回)

拠点施設を利用した人数 (地域内・地域外)：650人 (R1年度：3,356人)

拠点施設を会場とした地域交流行事開催件数：28件（R1年度：15件）

拠点施設の利活用を進める地域運営組織の登録スタッフ数：13人（R1年度：57人）

（具体的な事業）

- 木屋平・古宮・口山地区見回り服薬サポート事業 〈保険健康課〉
- デマンドバス（美馬ふれあいバス）運行事業 〈くらし・人権課〉
- 木屋平地区過疎地有償運送事業 〈くらし・人権課〉
- 郡里地域コミュニティー拠点施設整備事業（拠点整備交付金）〈くらし・人権課〉
- **（再掲）** 地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業〈くらし・人権課〉

(3) 全世代・全員活躍のまちづくり

モデル地区において健康でアクティブな生活を実現する取組を実施し、全世代・全員が活躍できる地域をつくり、移住・交流につなげる。

【K P I】

美来創生みま学講座受講者数：520人（R1年度：409人）

（具体的な事業）

- 美馬に夢をひらくアクティブライフ推進事業 〈にぎわい拠点課〉

(4) 健康・長寿の実現に向けた取組

市民に地域活動の担い手として元気に活躍してもらうため、体の状態や年齢に応じた健康のための取組を推進する。

【K P I】

介護予防教室参加者数：407人（R1年度：345人）

運動習慣がない人の6割が改善（R1年度：56.3%）

「基本チェックリスト」の運動機能に係る5項目のうち3項目該当者の7割が改善

（R1年度：100.0%）

健幸アンバサダー養成者数：250人（R1年度：-人）

（具体的な事業）

- 地域介護予防活動支援事業 〈長寿・障がい福祉課〉
- 美馬市×大塚製薬×徳島ヴォルティス連携健康づくりプロジェクト
（推進交付金）〈保険健康課〉
- 健幸アンバサダー育成・活動事業 〈保険健康課〉